

2022年4月14日

各 位

会 社 名 株式会社DDホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 松村 厚久
 (コード番号: 3073 東証プライム)
 問合せ先 上席執行役員 グループ経営管理本部長 斉藤 征晃
 電話番号 03-6858-6080 (代表)

2022年2月期通期連結業績予想の修正及び剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2021年4月14日に公表いたしました2022年2月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、本日2022年4月14日開催の取締役会において、「2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2022年2月28日を基準日とする普通株式に係る剰余金の配当、優先株式に係る剰余金の配当につきまして、下記の通り決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2022年2月期の通期連結業績予想数値の修正 (2021年3月1日～2022年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	33,297	318	297	230	14.89
今回修正予想 (B) ※注	19,353	△7,332	△97	△354	△20.21
増減額 (B-A)	△13,943	△7,650	△394	△584	
増減率 (%)	△41.9	—	—	—	
(ご参考) 前期通期実績 (2021年2月期通期)	23,483	△9,703	△9,034	△8,507	△550.83

※注 1株当たり当期純利益 (又は当期純損失) は、当期純利益 (又は当期純損失) から当期優先株式配当金総額を控除した金額を、期中平均発行済普通株式数で除して算出しています。

(2) 連結業績予想の修正理由

2022年2月期通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明であるものの、一定の前提を置いて収益の回復を見込み、グループ会社の見直し、グループ企業を含めたコストの圧縮、不採算店舗の退店等の更なるコスト節減を行うことを前提として業績予想を算定しておりました。しかしながら、度重なる緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置に伴い、各店舗においては、酒類の提供の制限や一部店舗では再び臨時休業や営業時間短縮を余儀なくされました。また、ソーシャルディスタンス等の感染拡大防止対策による客席数の減少に加えて、消費者の会食自粛の継続や在宅勤務の継続等の消費者の行動変化に伴う売上機会損失が発生し、業績に甚大な影響を受けております。

これらの影響により、通期の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がいずれも期首の想定を下回る見通しとなりましたので、今回、業績予想を下方修正することになりました。

なお、詳細につきましては、本日公表の「2022年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご覧ください。

2. 配当予想の修正

(1) 配当の内容

<普通株式（無配）>

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2022年1月14日公表)		未定	未定
今回修正予想		0円00銭	0円00銭
前期実績 (2021年2月期)	0円00銭	0円00銭	0円00銭

<優先株式>

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2022年1月14日公表)			
今回修正予想		10円96銭	10円96銭
前期実績 (2021年2月期)			

(2) 理由

当社は、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保するとともに、株主の皆様に対しては安定配当を目指しつつ、業績と配当性向を勘案して、適正な利益還元を努めております。

しかしながら、1. **業績予想の修正** (2) 連結業績予想の修正理由のとおり、当社を取り巻く経営環境や業績動向、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進展しているものの、未だ収束の兆しが見えないコロナ禍における財務リスクへの備え等を総合的に勘案した結果、誠に遺憾ではございますが、2022年2月期の期末配当金を2022年1月14日に公表した「未定」から「無配」に修正させていただきます。

着実な企業価値の向上を実現することで、早期の復配も含め、株主の皆様へより多くの還元が可能になると考えております。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

なお、2022年2月に第三者割当により発行した種類株式に係る配当につきましては、発行時に定められた種類株式発行要項及び当社定款の定めにより、1株につき10円96銭を予定しております。

以上